

総合計画策定市民会議 第2回専門委員会 会議録

【産業・経済】

開催日時	平成 25 年 6 月 17 日（月）午後 1 時 30 分～午後 3 時 40 分
開催場所	勤労者センター2F 大会議室
出欠状況	総委員数：14 名（出席委員数：12 名、欠席委員数：2 名） 事務局 2 名 欠席委員：川畑 民恵委員、寺島 尊委員
会議の概要	
開会	進行：副部会長 竹内 爾恵子 (竹内副部会長)
あいさつ (佐藤部会長)	皆さんお疲れ様です。 本日は、先に事務局から示された資料に基づき意見交換を進めたいと考えます。また横井委員からの提案もごございますので、その件についても皆で議論していきたいと考えます。宜しくお願い致します。
副部会長	それでは、事務局から事前送付された論点集約の内容に沿って、意見の交換を進めたいと思います。 皆さんそれぞれにご発言いただきたいと思います。
部会長	その前に、横井委員からの提言がございましたので、その内容について、ご説明をいただきたいと思います。宜しくお願いします。
横井委員	現状、円高等の経済の影響で（製造業が）国外では勝負できなくなっている現状がある中、日本の製造業の先行きに対し懸念があります。とりわけ「雇用」の問題については大変危惧しているところです。 (この度の私の提言は) この「雇用の創出」に関して、製造業がダメであればどういう分野に雇用を見出すのか、例えば農業への可能性や、観光、商い、工業分野での可能性など、皆で知恵を絞って、安定的な雇用に結びつけるための策を、この部会で議論していただきたいという提言です。 「雇用の創出」に関しては、多くの市民が望んでいることがはっきりしています。本委員会ですっかり議論して方向性を見出していく必要があるのではないかと考えたものです。
副部課長	それでは、今の横井委員からの提言も踏まえる中で、施策テーマとその方策

	<p>に関して意見交換を進めたいと思います。</p>
委員	<p>東御市の立地条件を考えてみた場合、基本的には農業施策の充実が必要であると感じています。</p>
委員	<p>産業全般に関して、例えば農業のワイン特区に関しては観光を結び付けるなど工夫して、東御市の良さをわかっていただけるような情報発信が何よりも必要であると感じています。</p>
委員	<p>農業に関して、市内の若い農業者は、生産したものを販売先まで考え情報発信しています。そういった取り組みへの何らかの支援は必要であると感じています。</p>
	<p>また、担い手を考えた場合、新たな農業者を育成していくこともそうですが、今従事されている農業者への支援も必要であるように感じています。</p>
委員	<p>アンケート結果を読み込んでみた結果から、先程提言された雇用問題も含め、やはり 40 歳以下の若年層の回答を注視すべきだと感じています。</p> <p>そんな中、アンケート結果では農業関係の第 6 次産業化への期待や、観光面への期待が高くなっているように読みとれます。</p> <p>個人的な見解として、具体的には、次のような取り組みを考えてみましたので発表します。</p>
	<p>テーマ：地産地消・来消の推進（仮称）、東御ブランドの確立と第 6 次産業化の推進（仮称）については、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 獣害を解決して一挙両得になるよう、鹿肉などを販売ルートに載せ、市内でも地産地消できるようにする ・ 鹿肉も含め、地場野菜とコラボレーションした新しい東御のレシピを発信する→ブランド化
	<p>テーマ：優良農地の確保と規模拡大に向けた農地流動化の促進（仮称）については、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 集約できる土地はどんどん集約化を進める。 ・ 集約できない中山間地の小規模耕作地は、優れた自然環境の基礎をなすものであるから、それはそれで大切に守っていく取り組みを進める。 …具体的には、山沿いの条件の悪い耕作地で農業を維持している方には自然保護への協力という観点から助成金を支給していく。
	<p>テーマ：企業の立地を誘う情報発信の展開（仮称）については、</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 製造業などの工場誘致は難しくなっているため、特別養護老人ホームや有料の老人ホームなどの新生活産業の分野を誘致する。 → 都会では需要があるにもかかわらず施設整備ができない状況にあるといわれています。福祉産業を誘致することで地元の雇用の創出にもつながってくるのではないかと考えます。 ・ 自然環境を利用した保養施設を誘致する … 明神館周辺などは健康保養地に適している環境を有しているため、地の利を活かし情報発信を進め、健康産業を誘致していくことが必要と考える。 <p>テーマ：観光拠点の整備と“おもてなし”の実現（仮称）については、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 観光のユニバーサル化を進める … 施設整備というハード環境ばかりでなく、“おもてなし”といったソフト面の充実を図るため、独自に観光ガイドボランティア（仮称）を制度化し、資格養成を進めてはどうか。
委員	<p>テーマ：地産地消・来消の推進（仮称）について、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小規模農業経営者による学校食材 100%供給を目指す。 … 農業のグローバル化が叫ばれていますが、小さい耕作地は農薬が少なく作物を栽培できるなど、それなりのメリットがある。よって、そういった小規模農家がネットワークを組んで食材を提供できる仕組みをつくる。 ・ 農にふれる体験グリーンツーリズムの実現 … 上田市・武石地区での取り組みを参考に、里山を楽しみ農業に触れる体験ツアーを進める。
委員	<p>横井委員から提言のあった「雇用の創出」に関しては、農業が雇用の場になり得るのではないかと考えます。年間を通じての雇用に結びつくかどうか懸念されるが、多品目栽培の大規模農家などでは十分雇用につながると感じています。</p> <p>また、テーマ：優良農地の確保と規模拡大に向けた農地流動化の促進（仮称）については、は基盤整備が何よりも必要であると考えます。耕作地条件を整えることで、担い手も増えてくるのではないかと感じています。</p>
委員	<p>雇用はどこの自治体でも深刻な問題であるが、年中働ける場の確保と若年層、女性の雇用の場の確保が何よりも大切だと感じています。</p> <p>農業分野での雇用創出は、2次加工、3次加工といった高付加価値農業の推進が必要であると考えます。</p>

委員	<p>論点集約化されている各テーマに方策を見出せば、雇用も生まれてくるように感じます。観光に関して言えば、湯の丸高原ガイドやインタープリターを雇用することで雇用が創出できるのではないかと考えています。</p> <p>また雇用に関しては、行政がやる問題、事業者がやるべき問題、市民がやるべき問題があると感じています。そういったことを全て認識し、それぞれが責任を果たしていく取り組みが必要であると考えます。</p>
委員	<p>「産業の振興」を掲げても、ある程度具体的な方策を描かないと前進しないと感じています。今議論されている中で、農業の規模拡大の話があるが、農業の規模拡大が進めば進むほど雇用の機会は減少してくるようになって感じています。そういった面も考慮しておく必要があるように思います。</p>
部会長	<p>「長野県ものづくり産業振興戦略プラン」を参考にお配りしていますが、ここに多くのヒントがあると感じています。国の施策、県の施策を踏襲して市の施策を考え、展開させていく必要性を感じています。</p>
副部会長	<p>東御市では新規就農の方が多いという特徴があるので、若い農業者を優遇する、また支える施策を展開する必要があると感じます。</p> <p>また商店街の活性化に関しては、商店街の方たちだけの集まりではなく、もっと広く人材を募って話し合いを進めていくことが必要であると思います。</p> <p>さらに、直売所の充実も重要なテーマであると思います。</p>
部会長	<p><中略></p> <p>(一通りご意見を伺いましたが)やはり市の考え、市民の考えをドッキングしてテーマ、方策を決定していく必要があると感じます。それが協働であると思います。私たちは、市民の日常の目線から行政提言ができればいいと感じています。</p>
副部会長	<p>全体を通じて他にご意見はございますか。</p>
委員	<p>立地条件から考えれば農業が重要だと思います。そんな中で東御市にはサービスエリアという大きな武器がありますから、そこを利用して大々的に農畜産物の販売やPRをしていくことができないものかと提案したいと思います。</p>
委員	<p>東京に東御市のアンテナショップを作っていくことが必要だと感じます。かつて市ではそういう計画を持っていたと思いますが、どこまで本気でやるのが重要ではないかと考えます。</p>

委員	<p>道の駅を東御市の玄関口と捉え、大々的に東御市をPRする拠点としたら如何かと考えます。</p> <p><中略></p>
委員	<p>今、委員それぞれから提案されている内容は方針のようなものが多いように感じます。もっと具体的にどうすればいいのかということ、話し合っていく必要があると思います。例えば、学校給食の地産地消にしても、どういった品目の野菜をどういった単位で供給していくか把握して、具体的にどれだけの農家を集めどう供給体制をつくるのか、といったことまで踏み込んでおく必要があると思います。</p> <p>テーマに沿って、一つ一つ具体策を考えていくことが必要です。</p>
委員	<p><中略></p> <p>農業へ雇用の話が向いていますが、若い人が農業をやりたいがらないのは、生活ができないからだと思います。農業で生計を立てていくには、(具体的な策はありませんが)やはり大規模化や6次産業化が必要なことだと思います。</p> <p>また、学校給食に関して言えば、それ自体で農業経営は成り立たないことも認識する必要があります。やはり、市場を通して販売する方が収益性は高いのが現実です。ボランティア的精神で、安価に食材を提供してもいいなら話は別ですが、生活を考えると難しいことだと考えています。</p> <p>そういったことも踏まえると、農業に雇用を見出すことはかなり難しいことだと思っています。</p> <p><中略></p>
事務局	<p>(今の話に関連して) 市民会議における提言とは何かについて提起させていただきたいと思います。提言とは提案ではありませんから、この委員会の総意が方針列挙の“言いつばなし”でよしとするならそれも“提言”でいいと思っています。</p> <p>ただ、他の委員会では「せっかく皆で集まっているのだから具体策まで提言していきたい」と話し合われています。</p> <p>従いまして、この委員会においても、どの部分まで提言するのかについて、ご議論してお決めいただいたほうが良いように思いますが、如何でしょうか？</p>
委員	<p>事務局から発言があったように、この委員会ではどこまで提言していくのか決めませんか。具体的な方策まで踏み込むのか、それとも施策テーマを掲げる</p>

<p>部会長</p>	<p>だけにするのか、その範囲を決めませんか。</p> <p>9月までにあまり時間が無いことを考えると、私は事務局に（案）を出していただいて、皆で議論して進める方が得策のように感じていますが如何ですか。それも協働だと考えるのですが。</p>
<p>委員</p>	<p>（市が考えていくことは当然だと思いますが）私たちは「市民会議」として招集されています。ですから、自分たちの考えを出してまとめたいと思います。</p> <p>市長への提言に関しても、私は漠然としたことの提言でなく、ある程度、具体的なことを掘り下げた提言をしていくほうが良いと感じています。</p> <p>先に事務局から示された、「中間検証報告書」のように、何だかさっぱりわからない言葉を並べるのではなくて、もっと市民誰もがわかりやすい言葉でテーマや方策を表現していきたいと考えていますが、どうでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>“言いつばなし”の提言をするのは学者や学校の先生です。ですが、この会議は、いろんな立場の市民がせっかく集まって、時間をかけて進めているのですから、行政に対してもある程度拘束力をもった提言をしていかないといけないと思います。</p> <p>「こういった方法で進めてくれ」と絞った提言が必要であると思います。</p>
<p>委員</p>	<p>いろいろお考えをもっと意見していただき、具体的な方策を出し合って進めませんか？そうでないと「あーしたらいいね」「こうしたらいいね」で終わってしまうと思います。</p> <p>（全員同意）</p> <p>→具体策まで踏み込んで、会として主体的にまとめ提言していくことを確認する。</p>
<p>委員</p>	<p>この「論点集約」テーマにとらわれることなく、農業なら農業で今後取り組んでいかれそうなことを皆で出し合ってみませんか。</p> <p>また、「論点集約」からピックアップしてテーマを絞っていくことも必要だと思います。</p>
<p>委員</p>	<p><中略></p> <p>確認ですが、この委員会が提言するにあたっての大きな目標としては「東御市民へ多くの雇用を創出していく」ことが根底にあると理解していいのですね。市民アンケートでは“雇用を何とかしてください”と出ている訳ですからこの</p>

	<p>会議としては、雇用の創出の観点からみんなで議論して方策を考え、提言していくということでもいい訳ですね。</p>
部会長	<p>雇用＝産業の振興だと思いますので、振興策を考えていけば解決しませんか。</p>
委員	<p>ですが、東御市民が一番感じている内容は「雇用」であるわけですから、それを一番に考えていかないと付託に応えられないのではないかと考えます。</p>
副部会長	<p>横井委員から提言された内容を踏まえ、「雇用の創出」をキーワードに、農業、工業、観光では雇用の面にどう関わっていけるのかも含め、まとめていけばいいのではないかと考えます。</p> <p>(全員確認)</p>
事務局	<p><中略></p> <p>(ご意見が尽きることがありませんが) 本日、皆さんから意見された内容をもう一回事務局がまとめて、次回までに具体的な方策を考えておくようにしては如何でしょうか。</p> <p>(全員同意)</p>
部会長	<p>では、次回までに皆さん個々に具体的な取組みを考えておいてください。その中でテーマも見直して、具体的な方策を提言できるようまとめて進めていきたいと思います。</p>
副部会長	<p>時間も経過していますので、本日の議論は終了したいと思います。</p> <p>次回は 7月8日(月)午後1時30分から、この 勤労者会館大会議室で行いたいと思います。</p> <p>長時間にわたってありがとうございました。</p> <p>本日は、これをもって閉会と致します。お疲れ様でした。</p> <p style="text-align: center;"> <総合計画策定市民会議事務局> 東御市 総務部 企画課 企画政策係 (総合計画担当) 電話：64-5893 (直通) Eメール：kikaku@city.tomi.nagano.jp </p>